

県立病院建物の耐震性について

【耐震化対策の経緯】

- 1 耐震診断は、昭和56年の「建築基準法」改正前の旧耐震基準で建築された建物について平成7年度に実施。（3箇所）
- 2 耐震診断の結果、中央病院救命救急センター及び新居浜病院本館について、建築基準法改正後の新耐震基準を満たさず、改修が必要となり、平成9年度に耐震改修工事を実施。

※ 建築基準法改正後の新耐震基準の耐震性は、大地振動（震度6強）により構造体の部分的損傷は生じるが、建築物全体の耐力の低下は著しくないことを目標とし、人命の安全確保が図られていることとされている。

病院		建築年度	概要	耐震診断	対応
中央	本院	S49	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上8F地下1F建て 延床面積 30,897㎡	実施	診断の結果、耐震基準を満たしたため、改修工事は不要
	救命救急センター	S56	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上6F地下1F建て 延床面積 8,567㎡	実施	H10.1.14 耐震改修工事済
	周産期センター	H2	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上7F地下1F建て 延床面積 7,361㎡	—	
	東洋医学研究所	S58	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2F建て 延床面積 1,220㎡	—	
	PET-CTセンター・職員宿舎	H17	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上8F地下1F建て 延床面積 3,928㎡	—	
今治	本館	S58	鉄筋コンクリート造 地上5F地下1F建て 延床面積 19,252㎡	—	
	高度診療棟	H5	鉄筋コンクリート造 地上5F建て 延床面積 1,747㎡	—	
三島		H3	鉄筋コンクリート造 地上5F地下1F建て 延床面積 11,000㎡	—	
南宇和		H3	鉄筋コンクリート造 地上5F地下1F建て 延床面積 11,000㎡	—	
新居浜	本館	S50	鉄筋コンクリート造 地上5F地下1F建て 延床面積 10,941㎡	実施	H10.3.25 耐震改修工事済
	別館	S58	鉄筋コンクリート造 地上2F建て 延床面積 3,396㎡	—	
	救命救急センター	H4	鉄筋コンクリート造 地上3F建て 延床面積 5,187㎡	—	